

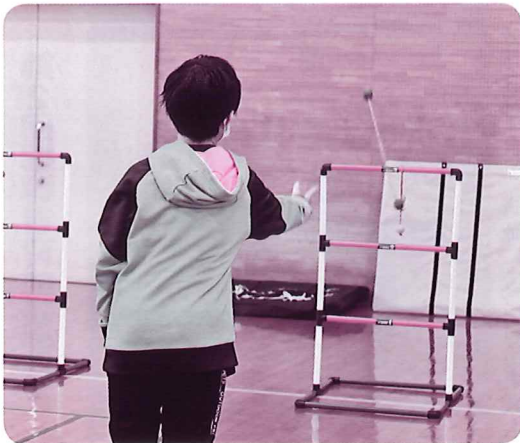
# みと子ども会

第 122 号

子ども虐待防止  
オレンジリボン運動

発行 令和5年3月15日  
水戸市子ども会育成連合会  
(水戸市教育委員会事務局教育部 生涯学習課内)  
〒310-8610  
水戸市中央1丁目4番1号  
☎029-306-8692

## 楽しくできたよ 市子連の活動！！



12月10日に開催された、ニュースポーツ体験は、子どもから大人までを対象に「誰もが、いつでも、どこでも、いつでも、気軽に自由に楽しめる」スポーツです。ルールが優しく、普段あまり運動をする機会がない人にもおすすめです。ニュースポーツは、まだまだ新しく、たくさん種類があります。どんなスポーツがあるか、ぜひ調べてみてください。  
(U・R)



ニュースポーツ体験



2月3日の豆まきに向けての鬼の面作りコーナーでは、赤鬼、青鬼だけでなく、カラフルな鬼の面が仕上がっていました。付き添いの方と相談しながらクレヨンの色を決めたり、黙々とひとりりで色ぬりに集中したりなど、様々なお子さんの様子がありませんでした。出来上がったお面を被り、満足に微笑む様子を見ることができました。  
(H・H)

第17回子どもフェスタin水戸



3年ぶりに第51回水戸市新春たこあげまつりが1月28日(土)にケーズデンキスタジアム水戸で開催されました。水戸市子ども会では、第17回子どもフェスタin水戸と模擬店を行いました。

第51回水戸市新春たこあげまつり



外の模擬店では、駄菓子屋さんを行い、たくさんのお子さんが買いに来てくれました。駄菓子にひもをつけ、子ども達に引いてもらうスタイルで販売しました。当たりクジつきにしたので、当たりが出た子はとても嬉しそうでした。子ども達はもちろん、それを見守るお父さんやお母さんにも、たくさん笑顔が見られました。  
(H・M)



模擬店 駄菓子屋さん

## なわとび 1160名参加

|           |        |      |
|-----------|--------|------|
| 1年生チャンピオン | 寿学区    | 176回 |
| 2年生チャンピオン | 堀原学区   | 202回 |
| 3年生チャンピオン | 大場学区   | 211回 |
| 4年生チャンピオン | 飯富学区   | 240回 |
| 5年生チャンピオン | 稲荷第一学区 | 267回 |
| 6年生チャンピオン | 石川学区   | 293回 |



令和4年度なわとびチャレンジ体験に1160名の子ども達が参加してくれました。学年ごとに1位から3位を表彰しました。参加してくれた児童の皆さん、協力していただいた保護者の皆様、ありがとうございました。令和5年度も引き続き計画いたしますので更なる参加をお願いします。

## 1分間なわとびチャレンジ



2月5日(日)、講師に飯富自治実践会会長の加倉井喜正氏、元水戸市子ども会育成連合会会長の菊池直樹氏を迎え開催されました。実践会の協力により休会から復活した飯富学区の取組みや、堀原学区の検討委員会の設置など、実例を交えながらも時には笑いが起きる!? 巧みな話術で楽しく行われました。各学区で抱えている問題点の解決策になるヒントが沢山あり、とても有意義な会になりました。(S・S)



## 第2回指導者育成研修会



3年ぶりに水戸郷土かるた中央大会(親善試合)が行われました。みなさんに楽しんでもらえるよう何度も話し合いを行い、例年と違うところもありましたが、たくさんの子ども会から低学年、高学年チームの参加がありました。緊張から始まり、最後にはみんな笑顔で終える事ができました。(S・H)



## 水戸郷土かるた中央大会



(S・Y)

★コロナ禍での自粛、中止で始まった今年度でしたが、新春たこあげまつり、水戸郷土かるた中央大会を3年ぶりに実施。また、球技大会の代替行事であるニュースポーツ体験を行いました。コロナ禍により子ども会活動の自粛が長引き、子ども会離れが加速しましたが、活動に参加する子どもたちは楽しそうです。地域全体で子ども会を守っていきましょう。大人の知恵を出し合いましょう。(S・A)

★今年度は、新春たこあげまつり、水戸郷土かるた中央大会を3年ぶりに実施。また、球技大会の代替行事であるニュースポーツ体験を行いました。コロナ禍により子ども会活動の自粛が長引き、子ども会離れが加速しましたが、活動に参加する子どもたちは楽しそうです。地域全体で子ども会を守っていきましょう。大人の知恵を出し合いましょう。(S・A)

## 編集後記

★今年度は、新春たこあげまつり、水戸郷土かるた中央大会を3年ぶりに実施。また、球技大会の代替行事であるニュースポーツ体験を行いました。コロナ禍により子ども会活動の自粛が長引き、子ども会離れが加速しましたが、活動に参加する子どもたちは楽しそうです。地域全体で子ども会を守っていきましょう。大人の知恵を出し合いましょう。(S・A)